

安倍政権の検証

—森友問題と共謀罪を考える—

講師 **佐藤 学** さん

(学習院大学教授・東京大学名誉教授)

森友学園問題と安倍政権との繋がり、今なお不透明なところが多いが、森友問題は安倍政権の下で起こり、安倍政権の体質と本質を表現する事件であったことは確かである。一方、共謀罪の法案は、特定秘密保護法の成立、安全保障関連法の成立との連続性をもつものであり、日本を「戦争ができる国」から「戦争をする国」へと変える途上として国会審議に突入している。この二つの出来事を中心に安倍政権の体質と本質について検証したい。

森友問題が、ここまで人々の関心を引き、大きな問題に発展したのは、森友学園が極右的な教育を行って安倍政権の人脈の特異なイデオロギーを顕現していたことと、強引な土地買収の疑惑が安倍政権下の官僚の墮落を表現していたからである。また共謀罪の危険性が叫ばれているのも、治安維持法によって戦争へ突入した歴史が再現される危険性があるからである。問われているのは国のかたちであり、社会のあり方であろう。なぜ、このような事態が生じているのか。そして日本の社会と文化と教育は、どう変えられようとしているのか。参加者とともに深く探求し合いたい。

主催・問合せ

ベグライテン

<http://begleiten.org/>

090-9146-6667 (関根)

[f https://www.facebook.com/begleiten2?fref=ts](https://www.facebook.com/begleiten2?fref=ts)

Begleiten
ベグライテン

ミシュカの森

ANA71805@nifty.com(入江)

[f https://www.facebook.com/mforest?fref=ts](https://www.facebook.com/mforest?fref=ts)

ミシュカの森

【共催】上智大学哲学科

講師略歴

三重大学助教授・東京大学助教授・教授を経て、2012年より現職。米国教育アカデミー会員。日本学術会議第一部元部長。日本教育学会元会長。アメリカ教育学会名誉会員。

主な著書

『米国カリキュラム改造史研究』『学校改革の哲学』(以上、東京大学出版会)『教育改革をデザインする』『専門家として教師を育てる』(以上、岩波書店)『教師というアポリア』『学びの快楽』(以上、世織書房)『学校の挑戦』『教師花伝書』(以上、小学館)など多数。

日時

2017年5月21日(日)
14:00~16:30(13:30開場)

場所

上智大学 四谷キャンパス
6号館 2F 201教室

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

(JR中央線・東京メトロ丸の内線南北線四ツ谷駅翹町口・赤坂口から 徒歩5分)

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsura

参加費

1,000円

(学生/障害・生保のある人 500円)

事前申込は、不要です。

☆どなたでも参加できます。

終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。

(各自が飲食した分をお支払いいただきます。)